

明治三十四年勅令

日西特別通商條約

日本国皇帝陛下及西班牙国皇帝陛下並ニ同皇帝陛下ノ名ヲ以テスル撰政皇后陛下ハ明治三十年一月二日即チ千八百九十七年一月二日「マドリッド」ニ於テ調印シタル議定書第一条ノ規定ニ基キ兩締盟国ノ一方ヘ輸入セラルル他ノ一方ノ貨物及商品ニ対シ賦課セラルヘキ輸入税ニ関シ相互ノ主義ニ基ク所ノ特別通商條約ヲ締結スルコトニ決定シ之カ為ニ日本国皇帝陛下ハ外務大臣從二位勲一等子爵青木周藏ヲ西班牙国皇帝陛下並ニ同皇帝陛下ノ名ヲ以テスル撰政皇后陛下ハ日本国皇帝陛下ノ闕下ニ駐劄スル西班牙国特命全權公使「ナイト、グラランド、クロッス、オフ、ゼ、ロイヤル、オルダー、オフ、イサベラ、ゼ、カソリック」「コンマンダー、オフ、ナンバー、オフ、ゼ、ローヤル、エンダ、ヂスチングイシド、オルダー、オフ、ゼ、チヤールス、ゼ、サード」勲一等旭日大綬章、葡萄牙国「ナイト、グラランド、クロッス、オフ、ゼ、ローヤル、オルダー、オフ、クライスト」「ドン、ルイス、デ、ラ、バレラ、イ、リエラ」ヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任状ヲ示シ其ノ良好妥当ナルヲ認メ以テ左ノ諸條ヲ協議決定セリ

第一条 西班牙半島並ニ「バレアリック」島及「カネーリ」島ヘ輸入スル日本国ノ生産或ハ製造ニ係ル一切ノ物品ニ対シテハ如何ナル名義又ハ名称ヲ以テ徵稅スルトモ別国ノ生産或ハ製造ニ係ル同種ノ物品ニ課スル所ノ税ニ異ナルカ或ハ之ヨリ多額ノ税ヲ課スルコトナカルヘシ然レトモ葡萄牙国ニ附与シタル特別ノ利益ハ日本国ノ生産品ニ対シ之ヲ附与セサルヘシ境界貿易ノ便宜ヲ計ラムカ為接壤諸國ニ許与スヘキ特典モ亦同シ但シ此等ノ利益又ハ特典カ葡萄牙国又ハ右ノ接壤諸國ノミニ限リ其ノ他ノ國ニ於テ之ヲ享有セサル場合ニ限ルモノトス

之ト均ク日本国ニ輸入スル西班牙国即チ西班牙半島並ニ「バレアリック」島及「カネーリ」島ノ生産或ハ製造ニ係ル一切ノ物品ニ対シテモ如何ナル名義又ハ名称ヲ以テ徵稅スルトモ別国ノ生産或ハ製造ニ係ル同種ノ物品ニ課スル所ノ税ニ異ナルカ或ハ之ヨリ多額ノ税ヲ課スルコトナカルヘシ

中間ノ諸港或ハ諸國ヲ通過シ又ハ此等ノ諸港或ハ諸國ニ於テ積換エ若ハ藏置セラレタル所ノ物品タリトモ通シ船荷証券ヲ有スルニ於テハ直接輸入物品ト同一視スヘキコトヲ相互ニ協約ス

又兩締盟国ノ一方ノ版図内ヘ別国ノ生産或ハ製造ニ係ル物品ノ輸入ヲ禁止スルニ非サレハ他ノ一方ノ版図内ノ生産或ハ製造ニ係ル物品ヲ何レノ地ヨリ輸入スルコトヲモ禁止スルコトナカルヘシ但シ此ノ取極ハ人畜ノ安全或ハ農業ニ有用ナル植物ノ安全ヲ保護スルニ必要ナル衛生上其ノ他ノ禁止ニハ適用スヘカラサルモノトス

第二条 兩締盟国ノ一方ノ版図内ヨリ他ノ一方ノ版図内ヘ輸出スル一切ノ物品ヘハ他ノ各外國ヘ輸出スル同種ノ物品ニ対シテ賦課シ若ハ賦課スヘキ所ニ異ナルカ或ハ之ヨリ多額ノ関稅又ハ取立金ヲ賦課スルコトナカルヘシ又兩締盟国ノ一方ノ版図内ニ於テ他ノ各外國ニ向ヒ物品ノ輸出ヲ禁止スルニ非サレハ他ノ一方ノ版図内ヘ同種ノ物品ヲ輸出スルコトヲモ禁止セサルヘシ

第三条 通商及航海ニ関シ西班牙国西班牙亜米利加諸共和国ノ為ニ保留スル所ノ特別ノ取扱ニシテ其ノ他ノ國ニ及ボサルモノニ対シテハ明治三十年一月二日即チ千八百九十七年一月二日調印ノ修好交通條約第十四条第一項ヲ適用セサルコトヲ同条第二項末段ニ於テ定メタルモ該取扱ハ本條約實施ノ日ヨリ條件ヲ附セシテ日本国ニモ之ヲ許与スヘキモノトス

第四条 本條約ハ批准交換後直ニ實施セラレヘシ

兩締盟国ノ一方ハ本條約實施ノ日ヨリ五箇年ヲ經過シタル後ハ何時タリトモ本條約ヲ終了セムト欲スル旨ヲ他ノ一方ニ通知スルノ權利ヲ有スヘシ而シテ此ノ通知ヲ為シタル後十二箇月ヲ經過シタルトキハ本條約ハ消滅ニ帰スヘキモノトス

第五条 本條約ハ日本文ニテ二通西班牙文ニテ二通英吉利文ニテ二通即チ六通ニ之ヲ書載ス而シテ日本文ト西班牙文トノ間ニ文意相異ナルトキハ英文ニ從リ之ヲ断定スヘシ

第六条 本條約ハ之ヲ批准シ其ノ批准ハ可成速ニ東京ニ於テ交換スヘシ

右証拠トシテ各全權委員ハ之ニ記名調印スルモノナリ

明治三十三年三月二十八日即チ千九百年三月二十八日東京ニ於テ之ヲ作ル

子爵青木周藏 印

ルイス、デ、ラ、バレラ、イ、リエラ 印

天佑ヲ保シ万世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本国皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕明治三十三年三月二十八日東京ニ於テ日西兩國全權委員ノ記名調印シタル特別通商條約ノ各条目ヲ親シク閱覽点檢シタルニ善ク朕ノ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百六十一年明治三十四年三月十二日東京宮城ニ於テ親カラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

外務大臣 加藤高明印